

対ニウエ 事業展開計画

2020年 4月 現在

| | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|---------------|-----------------|---|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------------|---------------------|
| <p>基本方針 (大目標)</p> | <p>自立的かつ持続的な発展のための基盤強化と国民の生活水準の向上</p> | | | | | | | | | | | |
| <p>重点分野1 (中目標)</p> | <p>自立的かつ持続的な発展に向けた基盤の強化</p> | | | | | | | | | | | |
| <p>開発課題1-1 (小目標) 経済成長基盤の強化</p> | <p>【現状と課題】 ニウエは経済規模が極めて小さく、国民の多くは教育や就労機会を求めてニュージーランド等の国外へ移住する傾向にあるため、人口減少が大きな問題となっている。また、国内で消費される物品のほぼ全てが輸入品であり物価水準は国民所得に比して高い状況にある。ニウエ政府は、ニウエ国家戦略計画（NNSP）2016-2026において、財政・経済開発や持続可能なインフラ整備を優先分野に掲げているほか、ニウエインフラ整備計画2016にて、持続的な経済成長に向けた基盤の強化を重視している。</p> | | | | | <p>【開発課題への対応方針】 観光や農業・漁業等の産業振興やインフラ整備に関し、持続的な経済成長基盤を下支えする人材の育成を中心に協力をを行う。</p> | | | | | | |
| | <p>協力プログラム名</p> | <p>協力プログラム概要</p> | <p>案件名</p> | <p>スキーム</p> | <p>実施期間</p> | | | | | | <p>支援額 (億円)</p> | <p>備考</p> |
| | <p>産業振興プログラム</p> | <p>長期・短期の研修員受入等の協力を通じて経済成長の中核となるような人材育成を実施するとともに、草の根・人間の安全保障無償を通じて、産業振興に向けた基盤を整備する。</p> | <p>産業振興分野の課題別研修</p> | <p>課題別研修他</p> | <p>2019年度以前</p> | <p>2020年度</p> | <p>2021年度</p> | <p>2022年度</p> | <p>2023年度</p> | <p>2024年度</p> | <p>0.00</p> | <p></p> |
| | | | <p>産業振興及び気候変動・環境、防災分野の無償資金協力(経済社会開発)</p> | <p>無償</p> | <p>0.00</p> | <p>0.00</p> | <p>0.00</p> | <p>0.00</p> | <p>0.00</p> | <p>0.00</p> | <p>1.00</p> | <p>他協力プログラムにも記載</p> |
| <p>産業振興及び気候変動・環境、防災分野の草の根・人間の安全保障無償資金協</p> | | | <p>草の根無償</p> | <p>0.00</p> | <p>0.00</p> | <p>0.00</p> | <p>0.00</p> | <p>0.00</p> | <p>0.00</p> | <p>0.31</p> | <p>他協力プログラムにも記載</p> | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------------|--|---|--|---|------------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------------|--------------|------|--------------|
| 開発課題 1-2 (小目標) 社会サービスの向上 | 【現状と課題】 ニウエでは、生活習慣病が深刻であり、予防医療を含む社会サービスの向上は大きな課題となっている。また、初等・中等教育における理数科教育の改善は地域的な課題とされており、これら社会サービスの向上に対応が必要な状況にある。ニウエ政府は、ニウエ国家戦略計画（NNSP）2016-2026において、社会サービスの拡充を優先課題の一つとして掲げている。 | | | 【開発課題への対応方針】 新型コロナウイルスへの対応や予防医療を含む栄養改善・医療・保健分野や、職業訓練・教育分野等の社会サービスの向上に関しては、研修員の受入による人材育成等を通じ、また草の根・人間の安全保障無償による施設整備等も検討し、医療・教育環境の向上に向けた協力を推進する。 | | | | | | | 支援額 (億円) | 備考 | | |
| | 協力プログラム名 | 協力プログラム概要 | 案件名 | スキーム | 実施期間 | | | | | | | | | |
| | | | | | 2019 年度 以前 | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 | | | | |
| 社会サービスの向上プログラム | 長期・短期の研修員受入を通じ、また草の根・人間の安全保障無償の活用を今後検討し、保健・療養施設の整備や初等・中等教育を中心とした学習環境の改善を行う。 | 社会サービスの向上分野の課題別研修 | 課題別研修他 | | | | | | | | | | | |
| | | SDGsグローバルリーダー・コース(Pacific-LEADS) | 国別研修 | | | | | | | | | 他協力プログラムにも記載 | | |
| 重点分野 2 (中目標) | 気候変動・環境、防災 | | | | | | | | | | | | | |
| 開発課題 2-1 (小目標) 気候変動対策・環境保全・防災対策 | 【現状と課題】 ニウエは気候変動の影響を受けやすく、またサイクロンや津波等の自然災害の危険にさらされていることから、適切な気候変動や防災対策が求められている。また、ニウエ政府は、ニウエ国家戦略計画（NNSP）2016-2026において、気候変動への対応を優先分野の1つとして掲げており、また、ニウエインフラ整備計画2016において、2025年までに太陽光発電を中心として再生可能エネルギーによる発電率80%を目指している。 | | | 【開発課題への対応方針】 研修員受入や第三国研修等を通じて気候変動対策や環境保全、防災に対応できる能力を強化する。 | | | | | | | 支援額 (億円) | 備考 | | |
| | 協力プログラム名 | 協力プログラム概要 | 案件名 | スキーム | 実施期間 | | | | | | | | | |
| | | | | | 2019 年度 以前 | 2020 年度 | 2021 年度 | 2022 年度 | 2023 年度 | 2024 年度 | | | | |
| | 気候変動・環境、防災プログラム | 短期・長期の研修員受入や草の根・人間の安全保障無償、プロジェクトやアドバイザーの技術協力を通じて、気候変動・環境、防災に関する能力強化を支援する。 | 産業振興及び気候変動・環境、防災分野の無償資金協力(経済社会開発) | 無償 | | | | | | | | | 1.00 | 他協力プログラムにも記載 |
| | | | 大洋州気象人材育成能力強化プロジェクト | フォローアップ | | | | | | | | | | 広域(フィジー拠点) |
| | | | 第三国研修 - フィジー気象局による大洋州における持続的な気象サービスの能力強化 | 第三国研修 | | | | | | | | | | 広域(フィジー拠点) |
| | | | 広域防災アドバイザー | 専門家 | | | | | | | | | | 広域(フィジー拠点) |
| | | 気候変動に対する強靭性向上のための大洋州人材能力向上プロジェクト | 技プロ | | | | | | | | 広域(サモア拠点) | | | |
| | | 気候変動・環境、防災分野の課題別研修 | 課題別研修他 | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--------------------------------|---------------------|--------|--|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|----|
| 重点分野3 (中目標) | 海上保安・海洋資源管理 | | | | | | | | | | | |
| 開発課題3-1 (小目標) | 【現状と課題】 ニウエを始めとする太平洋島嶼国は、人的リソースや予算が必ずしも十分ではなく、独自では広域な海域を適正に管理することが困難な状況にある。また、違法漁業や乱獲による海洋資源管理への対応も、水産業従事者の所得向上や海洋の持続可能性の観点から重要な課題となっている。 | | | | 【開発課題への対応方針】 研修員の受入を通じて、海上保安・海洋資源管理分野への対応力を向上させる。 | | | | | | | |
| | 協カプログラム名 | 協カプログラム概要 | 案件名 | スキーム | 実施期間 | | | | | | | |
| 海上保安・海洋資源管理 | 海上保安・海洋資源管理プログラム | 長期・短期の研修員の受入を通じて、同分野の対応力を強化する。 | 海上保安・海洋資源管理分野の課題別研修 | 課題別研修他 | 2019年度以前 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 支援額 (億円) | 備考 |
| SDG14に基づく大洋州における海洋資源の持続可能な開発及び資源管理における能力強化プロジェクト | | | 技プロ | | | | | | | | 広域(フィジー拠点) | |
| 港湾運営・維持管理政策アドバイザー | | | 専門家 | | | | | | | | 広域(フィジー拠点) | |
| 大洋州地域 船舶維持管理・造船アドバイザー | | | 専門家 | | | | | | | | 広域(フィジー拠点) | |

【凡例】 「協準」(＝全ての協カ準備調査)、「詳細設計」(＝詳細設計)、「技プロ」(＝技術協カプロジェクト)、「開発計画」(＝開発計画調査型技術協カ)、「個別専門家」(＝個別機材)、「個別研修」(＝課題別研修他) (＝課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(＝JICA海外協カ隊)、「第三国専門家」(＝第三国研修)、「現地国内研修」(＝科学技術) (＝科学技術協カ(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(＝草の根技術協カ)、「〇〇省技協」(＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協カ)、「民間提案型技協」(＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(＝以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協カ)、「水産無償」(＝水産無償資金協カ)、「食糧援助」(＝食糧援助)、「一般文化」(＝一般文化無償資金協カ)、「草の根文化」(＝草の根文化無償資金協カ)、「緊急無償」(＝緊急無償資金協カ)、「日本NGO」(＝日本NGO連携無償資金協カ)、「草の根無償」(＝草の根・人間の安全保障無償資金協カ)、「有償」(＝円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(＝基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム)、「基礎調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(＝中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実線「――」」(＝実施期間)、「破線「- -」」(＝実施予定期間)

※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。